

2019 年度精密工学会春季大会関連事業 「新技術講演会—産学・産産連携への集い」実施報告

精密工学会では、2013 年度より産学連携と産産連携を支援する講演会を始めました。これは、企業の皆さまに精密工学分野の研究機関との共同研究や関連企業とビジネス交流の場、技術サロンを提供させていただくもので、本年度の春季大会初日の3月13日に東京電機大学 東京千住キャンパスで開催しました。

第1部では、本学会賛助会員の会が企画するニューテクノロジーフォーラム「Future Mobility～その過去、現在、未来～」を開催しました。ここでは、日本の基幹産業である自動車や新しい産業として広がる航空機などの Mobility の開発経緯や技術の進化などをご紹介いただきました。第2部では、本会技術賞を受賞された3名の方に、その高い技術内容を披露していただきました。講演会には103名、技術交流会には54名もの多くの皆さまにご参加いただきました。

1. 第1部 ニューテクノロジーフォーラム「Future Mobility～その過去、現在、未来～」

日本の基幹産業である自動車は、まさに100年に一度の大変革期を迎えています。現行エンジンの環境対応や低燃費化と合わせて、モーター、電池の進歩による「HV」「PHV」「EV」、さらに水素社会を目指した「FCV」など、多くの技術や製造に関わる開発がなされています。また、欧米が先行してきた航空機においても、国産ジェットなど新しい産業が芽生えてきています。そこで、これらの Mobility の開発経緯や技術の進化などを紹介していただきました。まず精密工学会 賛助会員の会 菖蒲田会長（マツダ(株)）のご挨拶に引き続き、「MRJの挑戦～国産旅客機を世界の空へ～」三菱航空機(株) 柳 洋氏、「マツダが考える Future Mobility」マツダ(株) 本橋真之氏、「トヨタにおける燃料電池自動車の開発」トヨタ自動車(株) 中路宏弥氏にご講演いただき、フォーラム全体で Future Mobility について、各社の目指す未来について伺うことが



「賛助会員の会」菖蒲田会長挨拶



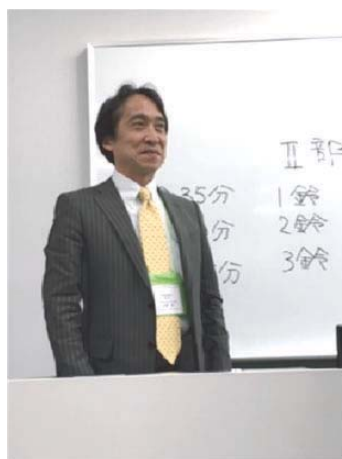
柳 洋氏の講演



本橋真之氏の講演



中路宏弥氏の講演



岩崎 誠氏の講演



榎本智章氏の講演



石井信行氏の講演



技術交流会の様子



「賛助会員の会」小坂新会長挨拶

できました。

2. 第2部 「先端企業・技術紹介セッション」

産学・産産連携の強化と賛助会員相互の情報交換の場として、交流を深める目的で、精密工学会技術賞を受賞された方々にその高い技術についてご講演いただきました。最初に遠藤副会長（大阪大学）によりご挨拶と本会技術賞についての説明をしていただいた後、名古屋工業大学大学院岩崎 誠氏により「波動歯車装置を内在する位置決め機構に対する高速高精度制御系設計の研究と製品開発」、マツダ(株) 榎本智章氏により「アルミ切削加工のための低コスト高能率加工技術～切削力センシング適応制御技術の開発～」、(株)マグネスケール石井信行氏により「自己校正型非接触高精度エンコーダシステムの開発実用化」の技術賞受賞講演が行われました。

講演後に活発な質疑応答に続き参加者からのご意見をい

ただき、交流を深めることができました。最後に精密工学会「賛助会員の会」新会長の小坂哲也氏（ファナック(株)）にご挨拶いただき、盛会のうちに講演会を終了しました。

3. 技術交流会

講演会終了後、夜の部 技術交流会（懇親会）を学内食堂に移動して開催しました。参加者は54名でした。「賛助会員の会」菖蒲田会長よりご挨拶いただき、精密工学会遠藤副会長の乾杯の発声の後、技術、情報交流の場として、約1時間半にわたり多くの参加者の歓談が尽きない交流会となりました。中締めのご挨拶は精密工学会「賛助会員の会」新会長の小坂哲也氏に行っていただき、盛会のうちに終了することができました。

文責：加藤総一郎（賛助会員の会 運営委員会幹事）